

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	南極地域観測事業に必要な経費		担当部局庁	研究開発局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 井上 諭一			
会計区分	一般会計		施策名	X-7 海洋分野の研究開発の重点的推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	・南極地域観測への参加及び南極地域観測統合推進本部の設置について(昭和30年11月4日閣議決定) ・南極地域観測第七期計画(H18～21) ・南極地域観測第八期6か年計画(H22～27)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、地球温暖化をはじめ地球規模での環境問題が拡大する中、極域特有の大気、海洋、雪氷等に関する研究・観測を実施することにより、地球規模での気候・環境変動のメカニズムの解明に資する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南極地域観測計画に基づき、地球温暖化など地球環境変動の解明に向け各分野における地球の諸現象に関する研究・観測を推進するため、南極観測船「しらせ」による南極地域(昭和基地)への観測隊員・物資等の輸送を実施するとともに、そのために必要な「しらせ」及び南極輸送支援ヘリコプターの保守・整備等を実施する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	15,690	3,510	3,440	3,712	3,917		
		補正予算	△ 3	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	15,687	3,510	3,440	0	3,917		
		執行額	14,950	3,207	3,255				
	執行率(%)	95.3%	91.4%	94.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(27年度)		
	南極地域観測統合推進本部外部評価委員会による評価結果(第7期(18～21年度)に実施された33の研究観測等の実績・成果を当初計画に照らしてSABC評価したもの)に占めるSA評価の割合。 ※第8期(22～27年度)に実施される各研究観測の評価については、期終了後に実施予定。	成果実績	%	85	—	—	80%以上		
		達成度	%	106	—	—			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	南極地域観測隊及び「しらせ」行動計画総行動日数	活動実績	日数	151	146	151	—		
		(当初見込み)			(151)	(151)	6月本部総会において決定		
単位当たりコスト	3,255(百万円/往復)		算出根拠	23年度執行額/観測1往復					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	職員諸手当	106百万円	107百万円	南極地域観測船「しらせ」の運用に係る経費の増					
	諸謝金	20百万円	17百万円						
	職員旅費	5百万円	5百万円						
	委員等旅費	3百万円	3百万円						
	南極地域観測隊員派遣旅費	40百万円	41百万円						
	南極地域観測事業業務庁費	169百万円	162百万円						
	航空機及船舶運航費	3,189百万円	3,407百万円						
	糧食費	83百万円	83百万円						
	南極地域観測委託費	95百万円	90百万円						
	南極条約事務局拠出金	2百万円	2百万円						
計	3,712百万円	3,917百万円							

事業所管部局による点検		
評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	○地球温暖化問題をはじめとする地球環境変化の実態把握と将来予測に対しては、国民から強い関心が寄せられている。極地における環境変動はグローバルな気候変動に大きな影響を及ぼしており、基盤的な観測データを取得し続けることが重要である。
	○ 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	○本事業は、昭和30年11月の閣議決定に基づき開始され、南極地域観測統合推進本部(本部長:文部科学大臣)を中心に関係省庁が連携協力して実施する国家プロジェクトである。気象条件の厳しい南極地域に隊員や物資等を安全・確実に輸送し、継続的に観測を実施するためには、専用の船舶等の特殊な技術が必要であり、地方自治体や民間等に委ねることは困難である。
	— 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○ 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	○南極地域観測第VIII期6ヶ年計画(22~27年度)では、派遣する人員数や活動地域・期間等の効率化を図ることとされており、毎年度、この基本方針に基づき南極観測統合推進本部が事業計画を検討・策定している。 ○毎年度、次年度予算の概算要求にあたり、関係各省庁からのヒアリングを実施し、南極観測や航空機及び船舶運行などに必要な経費の使途が、本事業の目的に即して真に必要なものかを検証している。
	— 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○ 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○ 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	○6ヶ年の観測計画終了時ごとに、研究観測、定常観測、設営、本部業務、並びにこれらを含めた事業計画全体について、南極地域観測統合推進本部の外部評価委員会により事後評価を実施している。第VII期の評価では、33の事業計画に対して、8割以上が「計画通り、または計画を上回った実績を上げている」とされ、事業計画全体についても、「学術研究の発展と、国際社会における我が国のプレゼンスの向上に貢献する実績を上げている」とされている。
	○ 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	— 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	第7期(18~21年度)における事業の成果を適切に検証するため、南極地域観測統合推進本部外部評価委員会による評価を実施した。今後は評価結果の第8期(22~27年度)後半への反映について、南極地域観測統合推進本部観測事業計画検討委員会における検討を予定している。また、24年度予算の編成にあたっては、関係省庁との連携のもと、観測機器の更新内容の精査等による効率化を図り、研究観測にかかる経費を縮減した。	
予算監視・効率化チームの所見		
一部改善	1. 事業評価の観点:この事業は、関係省庁への予算の移し替えを行いつつ、南極地域における研究・観測を行う長期継続事業である。 2. 所見:50年以上続く長期継続事業であり、地球規模での気候・環境変動のメカニズムの解明に資するために、閣議決定に基づいた他省庁との役割分担を踏まえた必要性が認められる。また、平成23年度レビューの指摘を踏まえ、24年度予算において観測機器の更新内容の精査等による効率化により研究観測にかかる経費の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト削減に努めるべきである。関係省庁への移し替えも含めて、これまでの事業の成果を適切に検証するとともに、関係省庁間のさらなる連携による効率化を図るべきである。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	関係省庁の観測活動に係る要求事項を、「必要性」、「緊急性」、「期待される効果」及び「これまでの取組実績」という4つの統一的観点から比較・検証し、効果的・効率的な予算配分を図った。また、平成23年度不用額の検証により、南極地域観測統合推進本部の活動を縮小した。これらにより、概算要求に▲13百万円反映した。	

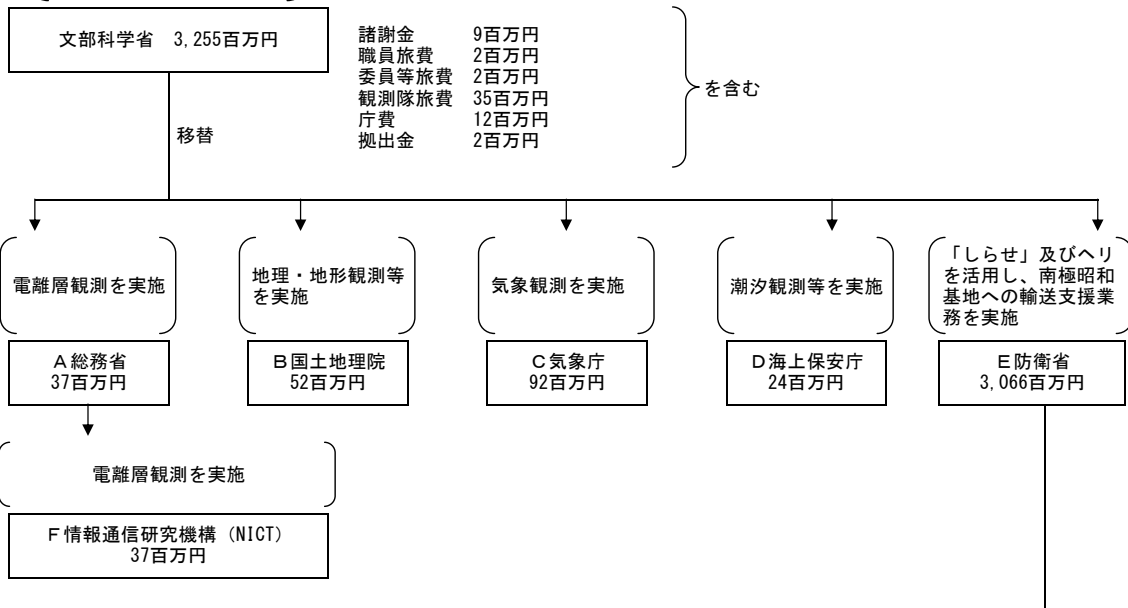
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

- ・南極地域観測への参加及び南極地域観測統合推進本部の設置について(昭和30年11月4日閣議決定)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/06022402/001.htm
- ・南極地域観測第Ⅶ期計画(H18～21)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/06022402/002.htm
- ・南極地域観測第Ⅷ期6か年計画(H22～27)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/detail/1301920.htm

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	0319	平成23年行政事業レビュー	0300
---------------	------	---------------	------

南極地域観測統合推進本部事務局（各省庁等との連絡調整、各種会議の開催、予算要求等を実施し事業を推進）



【随意契約・請負】	【一般競争入札・物品調達】	【一般競争入札・請負】	【一般競争入札・物品調達】	【随意契約・請負】	【一般競争入札・物品調達】	【一般競争入札・物品調達】	【随意契約・請負】	【一般競争入札・物品調達】	【随意契約・請負】
E-1 「しらせ」年検・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 338百万円	E-2 軽油2号(艦船用・免税)・カメイ(株) 316百万円	E-3 CH-101航空機用エンジン(RTM322補用)・川崎重工業(株) 255百万円	E-4 軽油2号(艦船用・免税)・中川物産(株) 206百万円	E-5 「しらせ」年検(変更)・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 205百万円	E-6 CH-101航空機用部品(輸入)・丸紅エアロスペース(株) 199百万円	E-7 軽油2号(艦船用・免税)・カメイ(株) 165百万円	E-8 「しらせ」年検(専門業者工事)・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 115百万円	E-9 画像伝送装置HXQ-2・三菱電機(株) 45百万円	E-10 「しらせ」年検(通信電子の部)・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 39百万円

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理を実施

砕氷艦「しらせ」の運航に必要な燃料の調達を実施

南極地域観測支援ヘリコプターの補用エンジンの調達を実施

砕氷艦「しらせ」の運航に必要な燃料の調達を実施

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理の変更を実施

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理の整備及び定期修理に必要部品を調達を実施

砕氷艦「しらせ」の運航に必要な燃料の調達を実施

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理の専門業者による工事を実施

南極地域観測支援ヘリコプターの整備に必要な機器の調達を実施

砕氷艦「しらせ」の年次検査・通信電子の部を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるよう
 に記載)

A総務省			E防衛省		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	電離層の観測に係る経費(情報通信研究機構)	37	航空機及船舶 運航費	航空機・船舶の運航に係る経費	2870
			職員諸手当	乗組員派遣に係る諸手当	96
			糧食費	艦内食料に係る経費	81
			南極地域観測 事業業務庁費	海上輸送に係る経費	16
			外国旅費	乗組員派遣に係る旅費	3
			職員旅費	職員に係る旅費	0.3
計		37	計		3,066
B国土地理院			F情報通信研究機構		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	地理・地形等の観測に係る経費	52	備品費	南極観測用デルタアンテナ、衛星測位 電波観測システム等	14
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	0.2	消耗品費	観測・業務用消耗品	5
			雑役務費	修理・保守費、観測補助業務、データ 整理作業、輸送等に係る費用	15
			一般管理費	上記直接経費に対する間接経費	3
計		52	計		37
C気象庁			E-1 ユニバーサル造船(株)京浜事業所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	気象観測に係る経費	83	艦船修理費	砕氷艦「しらせ」年次検査・修理	338
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	9			
計		92	計		338
D海上保安庁			E-2 カメイ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	潮汐等の観測に係る経費	24	油購入費	軽油2号(艦船用・免税)の調達	316
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	0.3			
計		24	計		316

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	E-3 川崎重工業(株)			E-7 カメイ(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	航空機修理費	CH-101用エンジン(RTM322・補用)	255	艦船用油購入費	軽油2号(艦船用・免税)の調達	165
	計		255	計		165
	E-4 中川物産(株)			E-8 ユニバーサル造船(株)京浜事業所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	油購入費	軽油2号(艦船用・免税)の調達	206	艦船修理費	「しらせ」年検(専門業者工事)	115
	計		206	計		115
	E-5 ユニバーサル造船(株)京浜事業所			E-9 三菱電機(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	艦船修理費	「しらせ」年検(変更)	205	航空機修理費	画像伝送装置HQX-2	45
	計		205	計		45
	E-6 丸紅エアロスペース(株)			E-10 ユニバーサル造船(株)京浜事業所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	航空機修理費	CH-101航空機用部品(輸入)	199	艦船修理費	砕氷艦「しらせ」年検・通信電子の部	39
	計		199	計		39

※表示単位未満四捨五入の関係で、各費目の金額の合計と計が一致しない場合がある。

支出先上位10者リスト

A

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	総務省	電離層観測の実施	37	—	—

B

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土地理院	地理・地形観測等の実施	52	—	—

C

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	気象庁	気象観測の実施	92	—	—

D

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	海上保安庁	潮汐観測等の実施	24	—	—

E

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	防衛省	「しらせ」及びへりを活用し南極昭和基地への輸送支援業務の実施	3,066	—	—

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	情報通信研究機構	電離観測の実施	37	随意契約	—

E-1

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	「しらせ」年検	338	随意契約	-

E-2

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	カメイ(株)	軽油2号(艦船用・免税)の調達	316	2	99.8%

E-3

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	川崎重工業(株)	CH-101用エンジン(RTM322・補用)	255	1	99.9%

E-4

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中川物産(株)	軽油2号(艦船用・免税)の調達	206	5	88.3%

E-5

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	砕氷艦「しらせ」年検(変更)	205	随意契約	-

E-6

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸紅エアロスペース(株)	CH-101航空機用部品(輸入)	199	1	99.9%

E-7

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	カメイ(株)	軽油2号(艦船用・免税)の調達	165	2	97.8%

E-8

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	「しらせ」年検(専門業者工事)	115	随意契約	-

E-9

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	画像伝送装置HQX-2	45	1	95.2%

E-10

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	砕氷艦「しらせ」年検・通信電子の部	39	随意契約	-